

森林技術センターの取組

低コストを目指した作業道の施工

森林技術センターは、森林のもっている諸機能向上を図るのにふさわしい森林管理を推進していくために、必要な技術の開発と普及を図ることを目的に設置されている機関です。

【低コストを目指した作業道の設計と施工】

森林資源、特に人工林の森林施業（間伐・複層林施業等）を効率的に推進し、併せて間伐収入等の増大を図るためには、その基盤となる路網を整備する必要があります。このため、林道の配置状況等を踏まえて、作業道の線形・規格・工法



低コスト作業道

等について検討し、低コストを目的に実証試験を行いましたので主な工法を紹介します。

軟弱地盤改良工法

軟弱地盤処理には、土砂及び碎石を使用する工法が一般的ですが、沈下・流出等により多くの碎石が必要となり、コストアップとなります。

この問題に対処するため、宅地の地盤改良材等に使用されている生石灰系土壌改良材を軟弱地盤に使用した工法です。

軟弱施工箇所に生石灰系土壌改良材を散布し、（今回は一立方当た



生石灰系土壌改良材の散布



かく拌（生石灰系土壌改良材を混ぜ合わせる）

り五七・五キログラムを使用）土壌の深さ三八センチをかく拌し、その後、転圧（押し固め）し、整地します。

利点・・・

生石灰系土壌改良材を散布し、かく拌した瞬間から土中の水分と反応し硬化が始まる。

当日に車両等の通行が可能（短時間で軟弱地盤処理が可能）。

路面が保護されるため、勾配が急な箇所にも使用可能。

支障木を利用した丸太組工

予定路線上の支障木を材料として利用し、建設費の節減と現地資材を活用した工法としました。



路肩は支障木を利用した丸太組で補強

コスト縮減と安全確保に向け、一つひとつ改善しながら実行しました。また、現地資材等を有効に活用し、自然環境に配慮した作業道として一つのモデルとなりました。詳しい内容は、森林技術センターへお問い合わせ下さい。

〒七一八・〇〇〇三

岡山県新見市高尾七八六・一

TEL〇五〇・三一六〇・六二二五

FAX〇八六七・七一・二四六四

http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/

gijyutsu